

Ⅱ 低炭素なまちづくりに向けた自立分散型電源を設置

【 具体的施策例 】

1 面的なエネルギーネットワークの構築 ＜地域冷暖房システムとの連携＞

- (1) 臨海副都心でのモデル事業 *
[リーディングプロジェクト3]＜港湾局、環境局＞
- (2) 大規模複合開発等でのCGS等の導入促進 *
[リーディングプロジェクト4]＜都市整備局、環境局＞
- (3) スマートグリッド等を活用したエネルギー需要最適
制御手法の検討＜環境局＞

2 都市開発地域でのCGS等の導入

- (1) CGSの導入補助＜環境局＞ *
- (2) 建物の省エネを促進する各種制度（都条例）の活用
の検討＜環境局＞
- (3) 都市再生特別地区や都市開発諸制度の活用の
検討＜都市整備局＞

3 住宅におけるCGSの導入

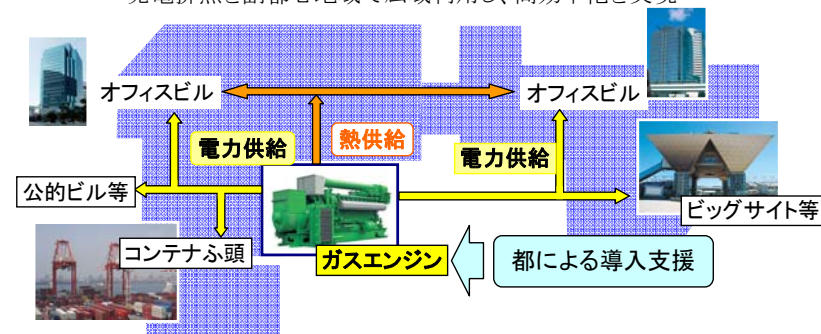
- (1) 都営地等を活用した住宅LCP普及モデルプロジェクト *
＜都市整備局＞
- (2) スマートメーター等を活用したエネルギー需給最適
制御手法の検討＜環境局＞

施策例（*）の具体的な内容は参考資料を参照（検討中のものは除く）

リーディングプロジェクト3

臨海副都心への分散型エネルギーネットワークの導入

- － 既存の臨海熱供給システムを再編強化
 - ・ 熱に加え、分散型電力ネットワークも導入
（共同溝を活用し、東電に依存しない送電網を整備）
 - ・ 発電排熱を副都心地域で広域利用し、高効率化を実現

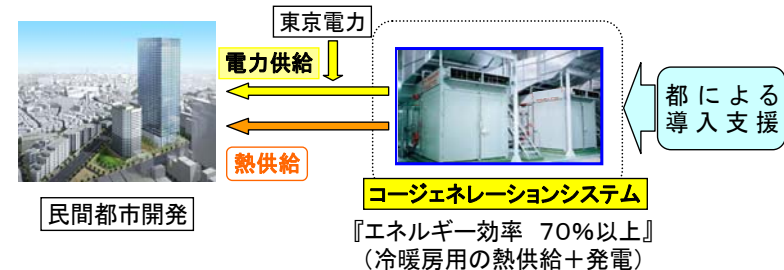


- ・ 臨海副都心：共同溝への自営線整備の検討・採算性精査中

リーディングプロジェクト4

大規模複合開発等でのCGS等の導入促進

- － 系統電力のみに依存しない、民間デベロッパーによるコージェネレーションシステム等の導入を後押し
 - ・ 災害時にも拠点地域での事業継続を可能に（BCP対策）
 - ・ 帰宅困難者の受け入れ施設としても機能



- ・ 再開発地域等におけるデベロッパーとの連携